

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【木崎中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得について偏りが見られる。 <指導上の課題> 自立学習を行う自信に関する調査について、全国平均を上回っているがさらに向上させたい。	⇒ 昨年度より行っている朝チャレンジの時間で生徒の情報活用能力を育成する。【通年・毎日実施】 生徒が自立学習ができるように、授業における「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を目指す。【通年実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 自分の考えを表現することについて偏りが見られる。 <指導上の課題> 授業において、生徒が考えをアウトプットする場面を多く設定する。	⇒ ICT等の思考ツールを授業で活用するための校内研修の時間を設け、子どもたちの探究のため、他者との対話や協働、自分の考えを明確にしたり、広げたり、深めたりする授業を目指す。【通年・年9回実施】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		① 結果分析(管理職・学年主任等) ② 詳細分析(学年・教科担当) ③ 分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率において、全国平均を上回った。しかし、その項目の中の「事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかを見る」の問題に課題が見られた。数学では、全体としては平均正答率が全国平均をやや上回った。特に「図形」において平均正答率が全国平均を大きく上回った。しかし、「数と式」において、やや課題が見られた。理科では「エネルギー」を柱とする領域と「粒子」を柱とする領域に課題が見られた。
思考・判断・表現	国語では、全ての項目で平均正答率が全国平均を上まわった。特に「書くこと」についてはそれが顕著に見られた。数学では、知識・技能同様に「図形」において平均正答率が全国平均を大きく上回った。しかし、「データの活用」において、やや課題が見られた。理科では、「地球」を柱とする領域において平均正答率が全国平均を上回ったが、「粒子」を柱とする領域に課題が見られた。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ① 結果分析(管理職・学年主任等)
- ② 詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	今年度で2年目となる朝チャレンジは、生徒たちに浸透し、自分に合った勉強法を自分で考え取り組めるようになりつつある。 また、各授業において、「個別最適な学び」「協働的な学び」一体的な充実を多くの教員が意識して、授業を展開している。	変更なし
思考・判断・表現	B	ICT等の思考ツールを授業で活用するための校内研修をここまで5回実施し、教員の意識を高め、探究のため、他者との対話や協働、自分の考えを明確にしたり、広げたり、深めたりする授業に取り組んだ。生徒もICTを思考・判断・表現に活用している。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)